

すみだ 区議会だより

NO. 123

発行：墨田区議会事務局

130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号 ☎5608-1111代表

http://www.city.sumida.tokyo.jp/~kugikai/

2002.4.24

平成14年度予算が成立

議員報酬等の削減を引き続き実施



「いま 錦糸町が元気です」 — 旧そごう跡に複合型商業施設がオープン —

※1面に掲載する写真を募集しています。

●第1回——定例会

墨田区議会は、平成14年第1回定例会を2月19日から3月28日までの38日間にわたって開きました。今定例会では、区長が平成14年度の施政方針を説明し、12人の議員が一般質問を行ったほか、区長から提出された総額1399億8100万円の平成14年度各会計の当初予算5件をはじめ全議案を原案どおり可決しました。

また、「墨田区議会議員の報酬及び費用弁償の特例に関する条例」を含む議員提出議案8件を可決するとともに、「墨田区議会議員定数検討特別委員会の設置（5面参照）」を決めました。

定例会での主な焦点

■墨田区議会議員の報酬及び費用弁償の特例に関する条例を可決
12年4月1日から14年3月31日まで区議会議員報酬及び費用弁償の削減を実施してきましたが、現在の危機的な財政状況と不況下における区民の実態にかんがみ、引き続き14年4月1日から15年3月31日までの1年間削減を実施するものです。議長及び副議長は報酬月額5%、その他の議員等は報酬月額3%減額し、また、費用弁償額を一日につき5000円から3000円に減額します。

■意見書5件を議決

「都立図書館の再編計画に関する意見書」、「准看護師に対する看護師への移行教育の早期実施に関する意見書」、「地域金融機関の破たん処理等に関する意見書」、「乳幼児医療費助成制度を国として創設することに関する意見書」、「慢性肝炎、肝硬変・ヘパトームの医療費助成存続に関する意見書」を議決し関係機関に送付しました。（意見書は2面から6面を参照）

■墨田区監査委員の選任に同意

3月31日をもって任期満了となる議見者選出監査委員、宮澤辰男氏の後任者として、小林孝治氏の選任に同意しました。

■新年度予算を特別委員会審査

2月27日から3月13日までの延べ10日間にわたる予算特別委員会、平成14年度墨田区一般会計予

平成14年度各会計予算	
一般会計	892億5,000万円 (-3.6%)
国民健康保険特別会計	206億3,300万円 (+1.7%)
老人保健医療特別会計	203億 600万円 (-0.8%)
介護保険特別会計	95億1,000万円 (+15.7%)
用地特別会計	2億8,200万円 (-82.2%)
総額	1,399億8,100万円 (-2.2%)

()内は、対前年度当初予算の増減率

- ▼予算特別委員会委員
- ◎中村 光雄 小池 武二
 - 片倉 洋 中沢 進
 - 桜井 浩之 村松 重昭
 - 田部井稔夫 坂岸 榮治
 - 大海雄一郎 佐藤 四郎
 - 出羽 邦夫 西原 文隆
 - 木内 清 槐 勲
 - 加藤 廣高 大和久常雄
 - 藤崎 繁武 西 恭三郎
- (◎委員長) (○副委員長)

一般質問

2月25日、26日、27日の3日間にわたり、自由民主党、自民区議団、公明党、日本共産党、民主クラブ、無所属の12名の議員から区長、教育長、環境担当部長に対して一般質問を行いました。

平成14年度予算編成の基本的な考え方を問う



自由民主党
藤崎 繁武

問 14年度の財源不足額とその財源対策は。厳しい経済環境の下で、少子高齢化等の各施策の推進を財政面で裏打ちする財政構造改革の断行が喫緊の課題である。また、先を展望した施策の取り組みも重要だが、どのような基本方針で予算編成に臨んだのか。15年度以降の財源不足をどの程度と想定し、どう対応するのか。

答 財源不足額66億円余に対し、行政改革実施計画の前倒しや基金等を活用した。予算編成は行革の取組み強化、基本計画施策の着実な推進、少子高齢化等に財源を優先配分した。種をまき芽を育てる施策も実施する。15年度は約50億円、16年度は30億円弱の不足が見込まれ行革計画の強力な取組みと資産処分等の検討が必要。

問 行政改革実施計画の達成度は。区民参画推進と議会の区政への関与の位置づけを整理すべき。区民満足度の向上を念頭に民間委託し、区民サービス向上を図るべき。管理職を対象とした人事制度の見直しの拡大と来年度以降の人員削減にどう取り組むのか。事務事業見直し等で約15億8千万円を生み出した。区

民と区議会の政策決定過程の関与のあり方や役割は当然違う。区民満足度向上を念頭に一層のサービス向上を図る。人事制度の改善と対象範囲の拡大を検討したい。定員適正化計画を前倒しで実行する。

問 より効率的な運営方法が模索されているが、主査制を導入した成果は。部署にまたがる人材の流動は効率的と考える。降格制度は悪いイメージを払拭し人材登用に役立ててほしい。能力主義、評価制度をどのように人材育成、人的配置に取り入れるのか。また、区民にわかりやすい役割所、効率よい行政のためどのような人材活用、組織運営を進めるのか。町会に対しては能動的なポトムアップ方式の本来あるべき姿に戻し育成しなければならぬが、町会長会議等を通じて区との関わりをどのように持っていくのか。

答 主査制により職員のモラルアップ、応援等の協力体制等が図られた。職員の流動化はプロジェクトチームなど課を越えての応援体制を組むことも含め効

普通の中小企業が元気になるための中小企業センターの運営戦略展開は。未利用特許等を製品や新技術開発に結実させる新技術政策保育園から民営化を導入するようだが、どのようなサービスの充実を考えているか。

答 改築園の民営化により休日保育、10時までの夜間保育、一時保育などを実施する。学校週5日制で休みとなる土曜日などのような子どもたちの受け皿をつくる予定なのか。実行委員会を組織し、公的施設等を活用した地域体験活動支援事業を推進する。

問 待機児解消のための早急な対応として、学校空き教室を利用している保育園拡充の可能性はないか。出生数が少ない原因のトップは金銭的理由であり、新婚・ファミリー家賃助成は存続すべき

ではなかったのか。若年層確保は百計を案じていかねばならない。情報化への対応で庁内LAN構築を単年度で行う意義は。受け手である区民への対応は、またどんなサービスが受けられるのか。

答 待機児は区施設等の有効利用も視野に入れ保育園分園等の設置、認証保育所制度、家庭

問 子どもと家庭・社会との適切な関わりが新たな局面を迎え、行政の役割はますます重要となる。「子ども家庭課」といつたわかりやすい効率的な総合窓口の設置を提案する。また、在宅で子育てを行っている子どもと家庭に対する支援策の充実、延長・一時保育等の公私サービス格差問題、民営化の進め方、公立幼稚園への少人数クラス編成・補助教員の配置・余裕教室の活用等運営のあり方について考え方を伺う。

福祉員の拡充等で解消を図る。若年層世帯の子育て環境整備に子育て集合住宅認定制度を創設しファミリー世帯の定住促進を図る。パソコンの一括導入でイントラネット導入効果を高める。パソコン教室開催や区施設窓口へ機器を配備し情報を提供する。15年度以降区民サービス向上に結びつける。

答 総合的な保育専管窓口設置は工夫を図りたい。在宅児童等の支援は児童館や子育て相談センター等を活動拠点としているが今後も充実を図る。官民格差は一時保育等の特例サービス実施率に差がある。改築予定のあおやぎ保育園を充実事業実施1号園とし

問 新学習指導要領による「ゆとり」の中の「特色ある教育」をどう進めていくのか。学校週5日制に対してどのような対策を検討しているのか。読書推進運動策として良書の中からクイズ形式で出題しチームで競い合う読書オリンピックの開催を提案する。

原案どおり可決すべきものと決定した。

議案 職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例。男女共同参画社会の実現に向け、深夜勤務の制限の請求ができる育児又は介護を行う職員

答 生徒の学習状況等にに応じた指導体制充実と地域社会や児童等の特性を生かした教育活動を推進する。週5日制では習熟度

企画総務委員会のまとめ

— 墨田区庁舎駐車場使用条例を可決 —

【3月22日】

議案 墨田区手数料条例の一部を改正する条例(2件)・温泉法の一部改正に伴い規程を整備する等のもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

の要件を緩和する等の国に準じた措置を講じるもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

議案 墨田区庁舎駐車場使用条例。墨田区庁舎駐車場の休日使用に際し料金等、必要な事項を定めるもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

等について国に準じた措置を講じるもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

議案 墨田区職員定数条例の一部を改正する条例。業務の民間委託の推進、事務事業の見直し等により、職員の減員が可能となるため、区長等の事務部局の職員定数2446人を2364人に削減するもの。起立表決の結果、原案どおり可決すべきものと決定した。

の制定に伴い、いかなる給与も支給しないこととする職員に同条例に基づく派遣職員を加えるもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

議案 公益法人等への職員の派遣等に関する条例。公益法人等への職員の派遣等に関する法律の施行に伴い、公益法人等への職員派遣等について定めるもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

管理職員の給料月額額の4%を減額するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

議案 職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例。男女共同参画社会の実現に向け、深夜勤務の制限の請求ができる育児又は介護を行う職員

計補正予算・新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業費など総額8億7881万5000円を追加するもの。起立表決の結果、原案どおり可決すべきものと決定した。

議案 平成13年度墨田区一般会

計補正予算・新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業費など総額8億7881万5000円を追加するもの。起立表決の結果、原案どおり可決すべきものと決定した。

地域金融機関の破たん処理等に関する意見書(要旨)

墨田区議会は、地域金融機関の破たんや統廃合に伴う深刻な実態を直視し、中小業者と地域経済を守るため、国会及び政府に対し、左記の事項を緊急に講じるよう、強く要望いたします。

- 一 信用金庫、信用組合の破たんとその処理による連鎖倒産・資金難など地域経済への打撃を防止するため、速やかな手形貸付・割引、制度融資の執行、既存融資の返済条件の維持など、中小企業・業者への円滑な資金供給が行われるようにすること。
- 二 融資先の中小企業・業者が、たとえ債務超過や赤字であったとしても、倉りなく返済を続ける限り、整理回収機構(RCC)に送るのではなく、「受け皿」金融機関に引き継がれるようにすること。
- 三 金融機関の地域金融機関に対する検査にあたっては、信用金庫・組合の本来の地域経済に対する役割が十分に発揮できるように、地域貢献と中小業者の育成を含む実態にあった独自の検査基準を策定するように求めること。

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 金融庁長官 あて

行財政改革実施計画は経済活動の実態に合わせた見直しが必要



自民区議団
中村 光雄

問 区が推進する行財政改革実施計画では14年度以降の経済成長率を2%と見込んでいますが、大勢では14年度のプラス成長は難しいと言われている。この計画の前提条件が日本経済停滞の長期化に伴い崩れているならば、計画内容を直し、更に踏み込んだ行財政改革に取り組みべきと考え、石原都知事は15年度は更に厳しい事態への対処が必要と述べているが区長の考えと決意を伺う。

答 行財政推進計画では16年度の収支均衡を目指し推進してきたが、急速な景気悪化から13年度は1%のマイナス成長が見込まれるなど経済状況が急変したため、改めて現在15年度以降の財政推計を行っている。14年度において行財政改革実施計画の改訂を行い、取り組みを一層強化することが不可欠であると考え、財政健全化実現は区政の最優先課題であり、不退転の決意で取り組む。

問 13年度予算は国際ファッションセンターへの貸付金問題等、大議論を重ね編成した経緯を考えると当初の見通しが甘かったのでは。主な要因は、旧文花小運動場売却費、特別会計繰出金の過年度精算分、更には配当保留を行い経費削減に努めて積み立てたもので、予算編成時に見込むことが困難な面を有していた。

答 行財政改革実施計画の14年度末までの実績見込みと生み出される財源額ほどの程度か。事務事業の見直し、職員定数の削減等が臨時財源対策を除き約15億円見込んでいます。

問 諸収入や繰入金という例外的な財源に依存した予算編成をどう考えるか。

答 現行税財政制度下では年度間にわたる財源調整のため繰入金や諸収入の割合が高くなる。財政の硬直化を防ぐためには予算総額の総量規制に向けて努力が必要と考え、義務的経費の圧縮を図り、財政構造の柔軟性の確保に向けて引き続き努力したい。

問 区が創設する子育て支援型集合住宅認定制度では身体にやさしい建材の使用が認定対象とされるが、現代日本が抱えるアレルギー問題に積極的に取り組んだ本認定制度の充実を希望する。

答 PCB廃棄物適正処理推進特別法では、取り外した配電盤等は学校施設内ではなく一括保管することとしているが、本区ではどうか。また15年以内の処理完了が義務づけられているが、早い時期に処理すべきと考えるがどうか。

京島地区まちづくりの早期実現を

自民区議団
阿部 幸男



問 日本一の人口密集地区と言われた京島地区のまちづくり事業も計画の段階から20年過ぎようとしているが、もう少し目には見えない。各用地がばらつき、事業用地として結び付かないこと原因があるのではないかと。今後、優先順位の高い事業に集中的に資金を投入し、事業の成果を地元住民や国、都に押し付けてPRする必要があるのではないか。計画の中では、地区の主要生活道路を完成させる姿勢が必要と考える。

答 若手工業従業者で構成する共栄会が大学とタイアップした新たな京島ブランド確立の動きや、地元協議会を中心とした京島マップづくりといった新たな地元住民の自主的な活動に対して、支援策を含めてどのように考えているのか。京島地区まちづくりを早期に完成させるため、密集事業ばかりではなく改良住宅事業や区有地を都市基盤整備公園等と一緒に活用する新しい手法等を積極的に取り入れていくべきと考える。

京島地区まちづくり事業の展開には、地区中央部を周回する8m幅道路を優先整備路線に位置づけ、昨年部分的に完成した路線に続き、道路整備の早期実現を目指し地元との折衝を進めたい。また、これまでの単独買収方式のほか都市基盤整備公園の参画による土地の交換分合といった新手法も活用し、まとまったエリアでの道路整備を進めていく。

点在する事業用地の活用には、国・都に対し使用目的の制限について柔軟な対応をとるの要望を行ってきたが、事業の目的外使用になり課題が多い。しかし、今後も強く働きかけ、できる限り目に見える形での事業推進に努めていく。

地元が主体となる活動は地域活性化の一助となると考え、墨田まちづくり公社が京島地区まちづくり協議会活動の一環として支援しているが、区も適切な支援を行う。京島地区では20年間、密集事業でのまちづくりを進めてきたが、地区内人口の減少及び少子高齢化、産業構造の変化等から、今後はさまざまな事業手法をとることが必要で、そのため都市基盤整備公園等との連携が必要と考えている。

問 京島地区まちづくり事業の展開には、地区中央部を周回する8m幅道路を優先整備路線に位置づけ、昨年部分的に完成した路線に続き、道路整備の早期実現を目指し地元との折衝を進めたい。また、これまでの単独買収方式のほか都市基盤整備公園の参画による土地の交換分合といった新手法も活用し、まとまったエリアでの道路整備を進めていく。

現在、教育現場ではテレビを利用した授業が展開されているが、映像に映ったままを受け入れる事しかできない押し付けにも似た教材、教育方法で良いのか疑問である。ぜひ、ラジオを利用した感性を育てる教育方法を取り入れるよう検討してほしい。

アレルギー問題などの環境保全対策の推進を



自由民主党
大海 雄一郎

問 伝統文化を継承し、自国に誇りを持たせられる教育方針の展開が真の国際化につながる。日本の価値を発信できる能力を培うことを目標に伝統文化に関する教育の推進を目指す。

答 文化芸術振興基本法による文化の支援も視野に補助金の国の支援も視野に補助金のあり方を支援策も含め検討すべき。民間支援活動の活性化を含め、文化振興財団が自立運営できるように一部補助を見直した。

学校跡地の活用は地域の交流拠点に



自由民主党
小池 武二

問 長年にわたり培ってきた貴重な人材と各種施設を有する学校の跡地活用は、幼児から高齢者まで、あらゆる人たちの地

法が未確立なため安定器は専用容器に封印し庁舎倉庫に、高圧コンデンサは学校の変電室内に厳重に保管しているが、今後の推移を踏まえ一刻も早い処理を考えたい。

現在、教育現場ではテレビを利用した授業が展開されているが、映像に映ったままを受け入れる事しかできない押し付けにも似た教材、教育方法で良いのか疑問である。ぜひ、ラジオを利用した感性を育てる教育方法を取り入れるよう検討してほしい。

ラジオは言葉の大切さを伝える素晴らしい特性を持っている。また、自らも同時に思考を深め想像力を豊かにし感性を育てることが期待できるとともに、コミュニケーションづくりに効果があると考える。研究部会などのような活用ができるか協議したい。

議案 墨田区国民健康保険出産費資金貸付条例・墨田区国民健康保険被保険者の福祉の向上を図るため、出産費資金の貸付けを行うもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

陳情 都立図書館の再編計画に関する陳情 外1件——「都立図書館の再編により、区民に不便をきたす」、「読書離れを防止する観点から、これからは図書館サービスを充実しなければならぬ」との意見が出され、採択すべきものと異議なく決定した。(左記参照)

報告 図書館の開館時間の延長等について——14年度から、あずま、緑、寺島及び八広図書館の開館時間の延長を行うとともに、あずま図書館の通年開館(年末年始を除く)を実施するのでその概要について報告があった。

議案 墨田区小中学校等入学準備金として区内共通お買物券を交付することに關する条例・小中学校等に入学する児童生徒の健康増進と子育てを支援し、併せて保護者負担の軽減を図るとともに、区内商店の振興にも貢献するため、入学準備金を交付するものとして、日本共産党から提出されたもの。「現状ではあらゆる条件面から実施は不可能である」「先の予算特別委員会において本案を含んだ予算編成組み替えを求める動議を否決している」との意見が出され、起立表決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定した。

議案 墨田区国民健康保険出産費資金貸付条例・墨田区国民健康保険被保険者の福祉の向上を図るため、出産費資金の貸付けを行うもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

陳情 都立図書館の再編計画に関する陳情 外1件——「都立図書館の再編により、区民に不便をきたす」、「読書離れを防止する観点から、これからは図書館サービスを充実しなければならぬ」との意見が出され、採択すべきものと異議なく決定した。(左記参照)

報告 図書館の開館時間の延長等について——14年度から、あずま、緑、寺島及び八広図書館の開館時間の延長を行うとともに、あずま図書館の通年開館(年末年始を除く)を実施するのでその概要について報告があった。

議案 墨田区小中学校等入学準備金として区内共通お買物券を交付することに關する条例・小中学校等に入学する児童生徒の健康増進と子育てを支援し、併せて保護者負担の軽減を図るとともに、区内商店の振興にも貢献するため、入学準備金を交付するものとして、日本共産党から提出されたもの。「現状ではあらゆる条件面から実施は不可能である」「先の予算特別委員会において本案を含んだ予算編成組み替えを求める動議を否決している」との意見が出され、起立表決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定した。

都立図書館の再編計画に関する意見書(要旨)
この度、東京都教育庁が設けた「都立図書館あり方検討委員会」の検討に基づき、都立図書館の事業とサービスを大幅に見直し、区市町村立図書館をバックアップし、千二百万市民の調査研究に資する都立図書館サービスを大幅に後退させ、将来にわたって文化的貧困を招くものではないかと懸念をもち、意見を述べた。
墨田区議会では東京都に対し、都立図書館の再編計画が区民にとってよりよいものとなるよう、これまでも都立図書館が区立図書館の運営を支える体制を確保し、協力貸出をはじめとするサービス水準の維持向上を図るとともに、日比谷図書館の児童資料移管に伴う都立図書館の蔵書十四万冊の除籍については慎重に対処するよう、また、都立図書館の運営は都内の公立図書館サービスに深くかかわるため、その変更等においては区市町村立図書館関係者の意見を聞き、協議するなど協力関係を強めるよう強く要望いたします。
東京都知事 東京都教育委員会教育長 あて

区民文教委員会のまとめ

幼稚園教育職員の給与の特例に関する条例を可決

【3月14日】

議案 墨田区国民健康保険出産費資金貸付条例・墨田区国民健康保険被保険者の福祉の向上を図るため、出産費資金の貸付けを行うもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

陳情 都立図書館の再編計画に関する陳情 外1件——「都立図書館の再編により、区民に不便をきたす」、「読書離れを防止する観点から、これからは図書館サービスを充実しなければならぬ」との意見が出され、採択すべきものと異議なく決定した。(左記参照)

報告 図書館の開館時間の延長等について——14年度から、あずま、緑、寺島及び八広図書館の開館時間の延長を行うとともに、あずま図書館の通年開館(年末年始を除く)を実施するのでその概要について報告があった。

議案 墨田区小中学校等入学準備金として区内共通お買物券を交付することに關する条例・小中学校等に入学する児童生徒の健康増進と子育てを支援し、併せて保護者負担の軽減を図るとともに、区内商店の振興にも貢献するため、入学準備金を交付するものとして、日本共産党から提出されたもの。「現状ではあらゆる条件面から実施は不可能である」「先の予算特別委員会において本案を含んだ予算編成組み替えを求める動議を否決している」との意見が出され、起立表決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定した。

議案 墨田区国民健康保険出産費資金貸付条例・墨田区国民健康保険被保険者の福祉の向上を図るため、出産費資金の貸付けを行うもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

陳情 都立図書館の再編計画に関する陳情 外1件——「都立図書館の再編により、区民に不便をきたす」、「読書離れを防止する観点から、これからは図書館サービスを充実しなければならぬ」との意見が出され、採択すべきものと異議なく決定した。(左記参照)

報告 図書館の開館時間の延長等について——14年度から、あずま、緑、寺島及び八広図書館の開館時間の延長を行うとともに、あずま図書館の通年開館(年末年始を除く)を実施するのでその概要について報告があった。

議案 墨田区小中学校等入学準備金として区内共通お買物券を交付することに關する条例・小中学校等に入学する児童生徒の健康増進と子育てを支援し、併せて保護者負担の軽減を図るとともに、区内商店の振興にも貢献するため、入学準備金を交付するものとして、日本共産党から提出されたもの。「現状ではあらゆる条件面から実施は不可能である」「先の予算特別委員会において本案を含んだ予算編成組み替えを求める動議を否決している」との意見が出され、起立表決の結果、賛成少数で否決すべきものと決定した。

議案 墨田区国民健康保険出産費資金貸付条例・墨田区国民健康保険被保険者の福祉の向上を図るため、出産費資金の貸付けを行うもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

陳情 都立図書館の再編計画に関する陳情 外1件——「都立図書館の再編により、区民に不便をきたす」、「読書離れを防止する観点から、これからは図書館サービスを充実しなければならぬ」との意見が出され、採択すべきものと異議なく決定した。(左記参照)

域コミュニティの活動の場とするのが一番と考える。いろいろな可能性が想定されるが、地域住民と十分に協議して実施計画を策定するなど、早急な検討を決断すべきである。

9年に策定した基本方針で学校跡地は、まちづくり、福祉、生涯学習やコミュニティ活動等に利用することになっているが、ご意見は今後の検討の際に参考としたい。なお、当面は現有施設を可能な限り利用する暫定利用とし、施設改修やランニングコストを考慮し、区の考え方を早期にまとめ地域の皆さんに相談したい。

●景気の悪い今こそ文化振興に力を注ぐべき

景気が悪く区民生活も大変な状況にあるが、こういう時こそ金をかけずに文化振興していくべきだ。本区には脈々と息づく東京の下町文化という貴重な財産がある。これを区民と一緒に区内内外に情報発信し、地域の活性化につなげてみてはどうか。

国に対してBSE(牛海面状脳症)被害補償の要求を



区内の食肉関連業者は長らく不況の中、BSE問題や雪印食品の牛肉偽装事件により深刻な打撃を受けている。昨年末区が創設した「狂牛病対策緊急資金融資」は無利子とし、3月末までの実施期間も延長すべきである。また、区内の被害を被った関連業者の実態を調査し、被害補償を国に要求することが必要と考える。

「狂牛病対策緊急資金融資」は申請件数及び照会も少ないため、期間の延長等は国の動向

区内の文化財産に対する区民の認識が薄いことから改めてさまざまな機会、媒体を通じて情報発信することが活力ある地域づくりにつながると考える。忠臣蔵300年祭の成功の経験を生かし、地域が主役、行政は側面支援で地域活力の醸成に努めたい。

新学習指導要領の実施により学力低下が懸念されているが、教育委員会の考え方は。授業のわからない子どもが出ないよう、個々に応じたきめ細かい指導が必要と考える。美しい日本語を大切にすること、名文の朗誦を学校教育や生涯学習に取り入れるべき。授業や特別活動における朗誦等を取り入れた指導法のあり方について検討を進めたい。

京成八広駅周辺再開発は今後、高架下利用や区有地活用等をどのようにしていくのか。今後のまちづくりの方向性に沿って活用の方策を検討していきたい。

区はこれまでの錦糸町駅北口再開発などの乱開発の反

区はこれまでの錦糸町駅北口再開発などの乱開発の反

省にたち、用途地域の見直しなどこれまでのやり方を転換すべきである。また、マンション建設による建築紛争が発生しているもとでは、区の相談窓口には区民に親切な対応が求められている。

無秩序な開発・再編とならないよう十分調査研究をしよう。建築紛争の対応は、建築紛争の予防条例の改正を検討しており、その中で説明会を義務づけるなど建築主への指導を徹底し紛争予防に努めたい。

介護保険制度において、国が保険料・利用料の減免制

財政再建は職員の人件費削減から



区の予算に占める人件費の割合は13年度実績で約28%であり、この10年間の上昇率は一般物価の伸びを上回っていることから職員の賃金カットの余裕は十分あると考える。これを鳥取県のように民間雇用の支援や財政再建に充当するほか、公務員のワークシェアリングも実施してほしい。

財源確保策として群馬県が発行する住民参加型の公募地方債「コミュニティボンド」は、地域に必要な資金を自前で調達できるため、墨田区が区民と区職員の力で自立する大きな手段の一つとなると考えるので真剣に取り組んでほしい。

人件費の削減は職員定数削減等の内部努力に努め、この中で特別職・管理職のみならず13年度は職員の期末手当削減を本区独自で実施した。14年度は引き続き特別職と管理職の削減を

社会情勢等を見極めながら改めて

度を創設することがどうしても必要なことは明らかである。低所得者対策は重要な課題であり、適切な対策を引き続き国に要望していきたい。

障害者団体や地元町会等と連携し本所吾妻橋駅エレベーター設置を働きかけるべき。駅施設のバリアフリー化は交通事業者の努めるべきものであり、都に強く働きかけたい。新学習指導要領実施に伴い、子どもが基礎学力を身につけ、基本を理解するための方策は、子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

子どもの実態に合った学習形態を工夫し基礎定着を図るが、教員加配も充実に努めたい。

ため、特別区共同で条件整備等の研究を進める必要があると考える。

先日、小学校の道徳教育の授業参観に行った際、始終業時に座礼を行っていた。起立、礼、着席という動きにより授業に集中していくと考える。PTA役員等も座礼はやめるべきとの意見であった。また、道徳教育の内容が偉人の名前を答える早押しクイズで、偉人の偉業が理解しにくいものであった。道徳教育は各担任に任せているそうだが、このままよいと考えているのか。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

座礼は子どもに過度の緊張感を与えないために実施する場合もあるが、適切であるとは思えない。児童等の実態に応じてその都度適切な指導を行うことが大切である。他人を敬う気持ちの表れとしての礼儀の意味を明らかにし、継続的な指導をしていきたい。また、道徳の時間の指導方法は工夫が大切と考え、研修会等を通じて担任の指導力向上や指導方法の改善を目指したい。

出予算の総額に1億8958万6千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

福祉保健委員会のもよみ

准看護婦に対する看護婦への移行教育の早期実施に関する陳情を採択

【3月18日】

すみだ福祉保健センター条例等の一部を改正する条例。生計困難者の負担軽減を図るため、介護保険サービスに係る利用者負担額(介護費負担に限る)の減額措置を講じるもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

墨田区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例。生活資金の貸付対象に、失業期間中の生活維持に必要な資金を加え、また、女性福祉資金貸付制度の充実を図るため、貸付限度額を引き上げる等のもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

墨田区学童クラブ条例の一部を改正する条例。利用状況等を勘案し、学童クラブの休業日に土曜日を加えるもの。起立表決の結果、原案どおり可決すべきものと決定した。

墨田区介護保険円滑導入基金条例を廃止する条例。国の介護円滑導入臨時特例交付金に係る特別対策の終了に伴い、介護保険円滑導入基金を廃止するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

平成13年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算・歳入歳出予算の総額に2億7907万4千円を追加するもの。原案どおり可決すべきものと異議なく決定した。

准看護婦に対する看護婦への移行教育の早期実施に関する意見書
平成11年4月、厚生省「准看護婦の移行教育に関する検討会」が「就業経験10年以上の准看護婦・士を対象に、5年に限った特別措置として、看護婦・士への移行教育を行う」という報告書をまとめ、解決の道筋が示されました。しかし、3年近く経過した現在でも実施時期が明らかにならないままという状況です。平成12年2月から3月に実施した厚生省のアンケートでも、7割強の准看護婦が移行教育を希望しており、一日も早い実施と全ての対象者が受講できることが求められています。よって、墨田区議会は国会及び政府に対し、保健師助産師看護師法を改正し、准看護婦に対する看護婦への移行教育を早期に実施するよう強く要望いたします。
衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 あて

定例会で決まった議案

今回の定例会で決定した議案は以下のとおりです。

- 区長提出議案
 - 〈予算〉
 - 平成13年度墨田区一般会計補正予算
 - 平成13年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算
 - 平成13年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算
 - 平成13年度墨田区介護保険特別会計補正予算
 - 平成14年度墨田区一般会計予算
 - 平成14年度墨田区国民健康保険特別会計予算
 - 平成14年度墨田区老人保健医療特別会計予算
 - 平成14年度墨田区介護保険特別会計予算
 - 平成14年度墨田区用地特別会計予算
 - 〈条例〉
 - 墨田区手数料条例の一部を改正する条例(2件)
 - 墨田区庁舎駐車場使用条例
 - 墨田区職員定数条例の一部を改正する条例
 - 公益法人等への職員の派遣等に関する条例
 - 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
 - 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
 - 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - 職員の給与の特例に関する条例
 - 墨田区地区会館条例の一部を改正する条例
 - 墨田区地域集会所設置条例の一部を改正する条例
 - 墨田区地域集会所の管理運営に関する条例の一部を改正する条例
 - 墨田区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
 - 墨田区有通路条例の一部を改正する条例
 - 墨田区立公園条例の一部を改正する条例
 - 墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - 墨田区国民健康保険出産費資金貸付条例
 - 墨田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例
 - 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
 - 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - 幼稚園教育職員の給与の特例に関する条例
 - 錦糸公園駐車場の管理運営に関する条例
 - すみだ福祉保健センター条例の一部を改正する条例
 - 墨田区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例
 - 墨田区児童クラブ条例の一部を改正する条例
 - 墨田区介護保険円滑導入基金条例を廃止する条例
 - 〈人事〉
 - 墨田区監査委員選任の同意について
 - 〈その他〉
 - 墨田区指定金融機関の指定について
- 議員提出議案
 - 墨田区議会議員の報酬及び費用弁償の特例に関する条例
 - 墨田区議会会議規則の一部を改正する規則
 - 訴えの提起、和解及び損害賠償額の決定に関する区長の専決処分について
 - 都立図書館の再編計画に関する意見書
 - 准看護師に対する看護師への移行教育の早期実施に関する意見書
 - 地域金融機関の破たん処理等に関する意見書
 - 乳幼児医療費助成制度を国として創設することに関する意見書
 - 慢性肝炎、肝硬変・ヘパトームの医療費助成存続に関する意見書

- 不採択としたもの
 - 〔区「年次計画」による30人以下
- 「採択としたもの」
 - 〔都立図書館の再編計画に関する陳情 外1件
 - 〔准看護師に対する看護師への移行教育の早期実施に関する陳情

○内は所管委員会です。
 ●区民文教委員会
 ●福祉保健委員会

みなさんの声

「請願・陳情の」
「審査結果」

今定例会では、請願1件、陳情2件を所管の委員会で審査し、最終日の本会議で次のとおり決定しました。

●「請願趣旨の一部は、趣旨に添うことは困難である」
 学級の実現に関する請願

このためには、区長の強いリーダーシップのもと、住民への説明責任、公平性、親切的対応を基本として全職員が一丸となり、行政改革を確実かつスピーディーに実行することを期待する。

墨田区の財政推計は、平成14年度をとりも財政不足額は当初算定の42億円が実質経済成長率の低下から区収入及び財調算定にも影響し、歳入歳出の再算定で24億円の不足が生じ、合計66億円にも膨らみました。財源対策として、48億円にもなる基金の取り崩し、区民資産の売却でなんとか乗り切る形です。平成15年度においては、52億円の財源不足が予想され、景気動向によってはこれが更に膨らむ可能性を恐れません。従って、墨田区としては、新たな行財政改革に着手し、区民税を大きく上回る人件費の更なる圧縮、高層の真剣な内部努力、イレギュラーでない臨時財源対策に平成15年度は必死になって取り組むべきである。

景気の悪化による区収入減、ピークを迎える公債費支出、特別交付金の減少などを背景とした約66億円の財源不足を、臨時財源対策や事務事業の見直し、内部努力の徹底などで、14年度予算編成をしたことは評価するものである。今後とも財政危機を乗り越えるため、更なる行政改革の推進に取り組むべきである。少子化対策では、産休明けや延長保育の充実、保育園の待機児童解消を推進すべきである。高齢者対策では、特養ホーム、老健施設などを拡充すべきである。商店街の活性化など商業振興策に力を入れてほしい。学校週5日制対策では、子供たちと保護者の不安を解消するため、教育委員会はあらゆる努力を傾注すべきである。

区民生活がいつそう深刻になるもとで、暮らしや営業を守る積極的な対策が求められている。ところが「財政危機」を理由にして、この間、区民施策を冷たく切り捨ててきた。新年度予算でも、児童クラブの土曜廃止など福祉・教育を中心に107事業・5億円余の施策を廃止・縮小している。一方、国際ファッションセンター(株)に50億円融資し、その会社に23億円も内部留保があり、銀行に15億円返済していたことは、わが党の追及で大問題となったが、区は今後も支援を続けるとしている。わが党は、「予算組み替え動議」と「入学準備金支給条例」を提案し、区民要求が実現可能であることを示したが、いまこそ、区民生活優先の区政に転換を図るべきだ。

不況により多額の財源不足が見込まれる中で、職員定数削減等の努力を行った予算編成には一定の評価をする。
 しかし、次の4点については十分予算執行の段階で配慮するよう強く要望する。①義務教育の中で学校が指定した体操着を着ることが当然であり、中学新1年生への運動着支給は継続すること。②学校週5日制の実施による学力低下を防ぐため、30人学級をぜひ実現すること。③国際ファッションセンターへの区貸付金の返済25億円に対する利子補給は、速やかにやめること。④パート職員の賃金引き下げをやめ、弱い者の立場に立った政策をとること。
 以上の取り組みを見守りながら、14年度予算に対しては賛成する。

●平成14年度予算に対する各会派の意見

自由民主党 賛成

自民区議団 賛成

公明党 賛成

日本共産党 反対

民主クラブ 賛成

行財政改革等特別委員会開かれる (2月18日)

行財政改革課題46項目71課題について、年内に一定の結論を出すとした15課題等(審議会等の公開基準の作成、パブリック・コメントの基準作成、区政等について区民と行政の意見交換のできる場の設定、行政評価制度の導入、区民満足度調査の実施、行政責任範囲の見直し、NPO等による生涯学習センターの運営、無料施設の有料化、事業部制の推進、グループ制(主査制)の実施、希望降任制度の導入検討、事務事業の見直し、公共施設整備基準の見直し、ヴァリエーション・アラインングの導入、定員適正化計画の推進、住宅使用料等の収納率向上対策)の検討結果について報告されました。

堺美穂子議員逝去



区議会議員堺美穂子氏は、平成14年1月13日、ご病氣のため逝去されました。(享年62歳)

堺氏は区議会議員として、昭和58年に初当選以来、連続5期19年間在職し、区政に貢献されました。この間、区民衛生副委員長、決算特別委員長等を歴任し、平成5年と12年には、墨田区功労者表彰(自治功労・特別)を受賞されました。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

議会構成等が一部変わりました

2月1日付で、日本共産党墨田区議会議員団の幹事長が高柳東彦議員から西恭三郎議員に変更となりました。また、2月27日付で高柳議員が委員であった議会運営委員も西議員に変更になりました。



編集後記

例年は第1回定例会閉幕の頃に桜が開花しますが、今年は既に若葉が息吹いていました。景気も前倒して回復してほしいものです。区議会事務局調査担当

△5608-6352

次の定例会は6月に開かれます。